

市町DX推進・人材育成支援業務委託の企画提案コンペにかかるご質問及び回答

	質問	回答
1	対象5市町への伴走視点について、現地訪問は必須でしょうか。調達や導入における確認等のスピード感や事業者等との調整支援においては、WEB会議等でのコミュニケーションや資料類を受領して、必要な指摘を行う等のメール等でのやり取りも発生すると考えますが、具体的なやり取りが5市町合計で15回以上で対応の工数として合計120時間以上と想定すればよろしいでしょうか。	現地訪問を基本としますが、県及び支援対象市町の合意があればWEB会議等での対応も可とします。また、5市町への支援については、1市町あたり15回以上、合計120時間程度の現地訪問を想定しています。なお、WEB会議やメール等によるやりとりも支援時間に含めるものとします。
2	専門人材の派遣先の肩書および上司はどなたになるのでしょうか。	専門人材の派遣は、県の委託事業として実施されますので、肩書は貴社のままとなり、派遣先において上司は存在しません。業務については、県及び市町担当者の指示に従って行っていただきます。
3	現地訪問以外に自治体から問合せがあった場合は、支援期間、時間に含めても良いのでしょうか。	含めていただいても結構ですが、対応時間については報告していただきます。
4	含めない場合、上限を設定してもよいでしょうか？	上記のとおりです。
5	支援途中の対象市町の方針、体制変更による支援変更は、途中の打ち切りの可能性はあるのでしょうか	支援を途中で打ち切めることは想定していません。万一、そのような事態が発生した場合は、支援内容等を変更して支援を継続する予定です。
6	「6 業務内容 (2) 実施方法」の中で、「専門人材による対象5市町への伴走支援は、支援期間最大8か月(令和7年7月～令和8年2月)とし、その期間内で15回以上、合計120時間程度、現地訪問を行うこととする。」とありますが、これは「1市町あたり15回訪問、120時間」でしょうか。それとも「5市町合計で15回訪問、120時間」でしょうか。	5市町への伴走支援については、1市町あたり15回以上、合計120時間程度現地訪問をしていただくことを想定しています。
7	同じ自治体で複数名で支援にあたってもよろしいでしょうか。	支援内容の継続性を確保していただけるのであれば問題ありません。
8	打ち合わせはどのようなものを想定されているのでしょうか。また打合せは支援期間、時間に含まれるものなのでしょうか。	打ち合わせは、県と受託事業者が、全体管理として、各市町の支援内容や進捗、課題、今後の展望等について検討するものとなります。このため、支援期間、時間には含まれません。
9	本コンペの参加条件として、対象5市町が検討または導入する可能性のあるDXツール(RPA, AI-OCR, AI議事録, 生成AI, 窓口DXsaas等)の構築・提供事業者または関連事業者の参加について、システム調達の適正化等に関する助言等も本業務に含まれることから、調達の公平性及び競争性の確保の観点から、望ましくないではないかと考えますが、DXツールの提供・構築事業者または関連事業者でも本コンペに参加可能でしょうか。	公平性及び競争性の確保の観点から、特定のツールに偏った市町支援は行わないこととします。また、市町の各種DXツールの仕様作成等に携わった場合は、携わったツールの調達には参加できなくなりますのでご注意ください。
10	参加資格確認申請書の添付書類について 身分証明書と成年被後見人、被保佐人等について登記されていないことの証明書については個人で申請する場合に必要であり、一般社団法人の場合は不要という認識で良いのでしょうか？	ご認識のとおりです。
11	再委託について 今回、事務局業務を自社にて担い、市町村へのDX人材マッチング・フォローアップはA社を含めた自社に所属する2、3の仲介会社で分担して再委託として行う予定です。 すると金額的には8割方が再委託となるのですが、再委託の上限額は定められているのでしょうか？ (できれば手続きの煩雑性を避けるため、共同事業体ではなく再委託にて対応したく考えております)	再委託の上限額は定めていませんが、再委託を行う場合は、契約後に「再委託承認申請書」をご提出いただきますので、必要に応じてヒアリング等を実施し、再委託が適切か判断させていただきます。
12	遠方の市町の場合、移動を含めて1日8時間取られることが想定され、当日の対応が、例えば4時間だったとしても実質8時間となります。その場合、移動時間込みで8時間とカウントすることは可能でしょうか？	移動時間は支援対応時間に含みません。